

【大雨・台風による災害が予想されるときの子生の登校判断基準】

鹿児島県立指宿高等学校

1 基本的な考え方

生徒の登校は安全確保を第一とし、登校できる場合は登校する。

<安全確保の判断>

- ① 普段の登校する交通手段が確保されている。
 - ② 学校までの安全（川の増水や崖崩れ等がない）が確保されている。
- 上記①，②のいずれかが整わない場合は自宅待機とする。

2 JR不通時におけるJR通学生の対応

運行再開まで、自宅または駅で待機する。

- ① 正午前までに運転が再開された場合は登校する。
- ② 正午を過ぎても運転が再開されない場合は登校の必要はない。

なお、JR運行再開の情報の入手法は、生徒各自が準備しておくこと。

<JRの運転に関する情報の入手法の例>

① インターネット

例 JR九州運行情報

<https://www.jrkyushu.co.jp/trains/unkou.php>

- ② 最寄りの駅への問い合わせ
- ③ JR九州アプリの利用
- ④ テレビ・ラジオの交通情報



3 緊急連絡網による指示・連絡

台風接近時は前日に学校で指示するが、状況が変わった場合は、<1. 基本的な考え方>に照らし合わせて登校の判断をする。

緊急連絡網を用いて臨時休校等の連絡する場合もあるので、連絡網の確認をしておくこと。